

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年09月06日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000096"/> 整理番号 <input type="text" value="11354"/> 担当者 <input type="text" value="小森 幹雄"/>
表 題	<input type="text" value="落花生殻等を利用した樹脂との複合材料およびその製造方法"/>
技術分野	<input type="text" value="土木・建築"/> <input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="材料"/> <input type="text" value="環境"/>
適用製品	<input type="text" value="パーティクルボード, 化粧板等"/>
目 的	<input type="text" value="産業廃棄物として廃棄されている落花生の殻は、強度の高い繊維を含んでいると共に消音、消臭、吸湿、アレルギー原因物質の吸収等の効果が期待できる多孔質の部位を含んでいる。これらの特徴を有する落花生の殻およびその他の植物もしくは果実の殻、又は、植物もしくは果実の種を粉碎してなる原材料を活用したボードを製造する方法を提供する。"/>
技術概要	<input type="text" value="まず、約1ミリに粉碎された落花生殻等に水を噴霧した後、接着用のポリビニルアルコール(PVA)樹脂の粉末を投入して攪拌することでPVAを均一に落花生殻等に付着させる。水の噴霧は、PVAを溶融させる働きも有している。その後、強度増加用の繊維素材からなる強化材が先に敷かれた成形用金型に、上記の処理がなされた落花生殻等を投入する。そして、強度増加用の繊維素材からなる強化材をのせて、180℃、5分、圧力3MPa(メガパスカル)にて加熱圧縮して成形する。圧縮成形時、水を乾燥させるために、投入素材を高温にするので、水蒸気が発生する。その水蒸気を金型外に排出するための機能を有した金型が必要である。粉碎材料例の一つである落花生殻を使用した場合、曲げ弾性率は、2GPa以上、また、曲げ強度は8MPa以上を達成した。本材料は、建材として活用可能な、強度を有しており、建材以外の適用も可能である。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp